

東京海洋大学海洋工学部創基 150 周年記念講演会・懇親会について

東京海洋大学海洋工学部は、本年、明治 8 年の私立三菱商船学校創設より 150 周年を迎えたことを記念し、11 月 1 日（土）に越中島キャンパス講堂において、創基 150 周年記念講演会・懇親会を開催しました。

記念講演会には、井関俊夫学長、久保信明海洋工学部長他の学内関係者、長澤仁志日本船主協会会長（日本郵船株式会社会長）他来賓の方々、関係企業・団体の方々、本学 OB の方々等多数の学外関係者、約 270 名が出席しました。

井関学長の挨拶に続いて、文部科学省高等教育局長祝辞を松本英登高等教育局専門教育課長が代読、関根博海洋会会長が来賓挨拶を述べた後、久保海洋工学部長が挨拶の中で学部紹介を行うとともに、清水悦郎海洋電子機械工学科教授による研究紹介「未来の海技者養成に向けた海洋大の取組」が行われました。

引き続き、記念講演として、長澤日本船主協会会長による「外航海運業界を取り巻く現状と船員（海技者）教育への期待」が行われた後、「海とともに 150 年 — 商船・海洋工学の歩みと未来」と題して、庄司邦昭名誉教授「史跡で巡る海洋工学部 150 年」、賞雅寛而名誉教授「商船学校の始まり、及び機関係商船教育研究の社会的貢献」、苦瀬博仁名誉教授「物流の歴史的変遷とロジスティクス教育への期待」が行われました。

また、記念講演会には馬谷正樹国土交通省海事局海技課船員教育室長、田島哲明独立行政法人海技教育機構理事長、平山勝敏神戸大学大学院海事科学研究科長、藤本隆士大島商船高等専門学校長、黒岡誠一楽水会常務理事、黒川久幸東京海洋大学海洋工学部後援会理事も出席され、前身である高等商船学校、東京商船大学、現在の海洋工学部の歴史を振り返るとともに、今後の海洋工学部のさらなる発展に向けて、出席した学内・学外関係者が決意を新たにしました。

場所をキャンパス内のワールドマリンカフェに移して行われました記念懇親会では、約 170 名の出席を得て、南清和理事の乾杯発声に始まり、OB による挨拶などあり、最後に今津隼馬名誉教授の万歳三唱にて締められ、盛況のうちに終了しました。



井関学長挨拶



松本専門教育課長挨拶



関根海洋会会長挨拶



久保海洋工学部長学部紹介



清水教授研究紹介



長澤日本船主協会会長講演



庄司名誉教授講演



賞雅名誉教授講演



苦瀬名誉教授講演



今津名誉教授万歳三唱